

浪漫飛行



野幌教会牧師
福島義人
(第34回卒)

両親(母は保育科)が学んだ農村伝道神学校を卒業し、39年が経ちます。昨年、母が降誕祭を前に95歳で召され、ともにコロナ感染し、傍らで臨終の祈りを献げた父の言葉が「あの人は本当によい人だった」でした。リンゴ箱一つにすべての夢を詰め込み、新婚旅行を兼ねた最初の赴任地が青森の藤崎教会。今でいう「浪漫飛行」が両親の最初の歩みです。4人の子どもに恵まれ、経済的困窮も含めさまざまな困難もありましたが、「み言葉と祈り」が伝道に臨む両親を極上の人生へと変えさせました。

私も神学校によい思い出が残ります。当時、青山学院神学部廃止に伴い、志を持った諸先生が来校、新共同訳翻訳最中、関係する先生の授業は熱が入りました。敬称は略し、説教は関田寛雄、旧約は木田献一、キリスト教教育の水野誠、聖書考古学は中近東文化センター小野寺幸也、哲学は池明観、牧会心理学の三永恭平、校長の國安敬二、雨宮栄一、柏井宣夫…、松尾喜代司のカール・ホイシ『教会史概説』は今も手元に。晩年の手紙に「エーベリンクを学び直しているが、私にどのくらい命が残されているのか」と記して私を励まされました。学生数の関係で1クラス数人の贅沢な授業。農業概論・実習は井草正。先生の火傷の痕は農伝の冬の枯草燃やしの延焼を一人で消火した時のもの。旧約の興梠正敏の最初の生徒が両親で、最後が私でした。晩年、突然教会に来られ、「妻が若いころに通った教会。今日が命日なので

礼拝堂で祈らせてほしい」と、薄暗い礼拝堂で1時間近く祈られ、小さなお財布の中身全部を献金して帰られました。その後、留萌で開拓伝道する両親を訪ね、車の助手席で海を眺め、「僕の人生これでよかったのだろうか…。これが(神が与えた)僕の人生だ」と自問自答する姿がありました。いつも学生を励ます食堂の工藤さんをはじめ、今は皆天国です。

ガルニエ社のポジティブオルガン奏楽試験では、足鍵盤付きの曲が弾きたくて一週間、柔軟体操をして臨み、左足親指を使って先生を困惑させました。図書室では鈴木正久直筆の説教ノートを説教集と見比べ楽しみました。日曜は誰もが早朝、教会奉仕へ出かけます。バスや電車を乗り継ぐ片道2時間の旅。平日夜の祈祷会后、誰かに話しかけられると、町田からの最終バスは諦め、徒歩2時間半で人生を見つめて楽しく帰寮。平日の夜は交替で近くの豊話学校に宿直。毎週、「東京いのちの電話」のお手伝いもしました。

卒業後は神学生で通った紅葉坂教会、富貴島教会(現・市川東教会)、長野県町教会での開拓伝道(今の長野本郷教会)、光教会9年、小倉東篠崎教会20年、4年前に野幌に来て毎週、老人ホームの親を訪ねます。卒業後の一番の教師は、教会員や求道者、住職を含めた近所の方々でした。それを見誤れば、神学の学びを高慢な「騒がしい饒鉢(にょうはち)」にさせます。そういえば、台湾の玉山神学校教師が留学され、寮で1年ご一緒しました。部屋で出されるお茶で毎回腹が膨れるまで話したある日、お風呂で涙を流されるので心配して聞くと、ボンヘッファー『聖徒の交わり』に心打たれたとのこと。あのころの熱い思いの学生や教師が懐かしくなる歳になりました。今は教会周辺の掃除、草刈り、雪かきを楽しんでいます。



両親と一緒に。父・福島恒雄隠退牧師(神学科6回生/写真中央)と母・幸子(ゆきこ)(旧姓 馬場 保育科2回生 2022年12月9日召天/写真右)

サンゴ・レクイエム HOPE SPOTに 寄せる想い

農村伝道神学校で開催されました。3年前から沖縄に住み、絵を描き始めた島さん。彼女を講師として迎える2月上旬の解放講座「障害者



『沖縄・辺野古通信一見習い船長のまなざし』2022年、燦葉出版社
定価 1800円＋税を1600円。後援献金になります。後援会にお申し込みください。
島しづ子牧師（日本基督教団うふざと教会 辺野古抗議船見習い船長）メッセージ集

差別問題」日程に合わせ、原画と「HenokoからSeaちゃん」絵ハガキの売上金を後援会献金と辺野古新基地建設反対海上行動支援金にと思い、開催しました。作品展には農伝近くの日本聾話学校中学部の生徒さんたちも訪れ、マスクを外した島さんの説明を真剣に聴いていました。翌週は聾話学校の教室で島さん紹介のDVD「沖縄で何が起きているのか」「辺野古ぶるー」を観て、「抗議する人の気持ちが伝わった」「押しつぶされるサンゴがかわいそう」などの感想文が島さんに送られました。

会期中の「島しづ子と語る会」は3日間で農伝学生、卒業生、講師、教会、船長見習い仲間、近隣の方、遠方からも延べ50人が参加し、熱心な語り合いが持てました。島さんは、沖縄戦で家族のなか独り生き残った方のこと、沖縄戦を生き抜いた人たちの安和棧橋、塩川港での牛歩行動、「辺野古座り込み3000日」との看板を書いている、高校生のときにお母さんを米兵に殺された人のこと、「〇〇するな！」や「NO!」ではない手描きの愛のあふれるボードを描いている人のことなど、また、沖縄差別についても語られました。「あまりに酷い現場で愛を探している。その愛を大袈裟に伝えているかもしれない」と話され、アウシュビッツで死ぬまで神と人を愛した女性が書いた『エロスと神と収容所—エティの日記』を紹介されました。第1回作品展の辺野古のカフェ「Heaven Heaven」、第2回的那覇市「ゆかるひ」に続く、第3回開催でした。第4回はどこで開催されるでしょう。
長谷川りゑ子（後援会実務委員）



作品のまえて島しづ子さん(左)と日本聾話学校の生徒さん
撮影/山崎邦紀

♪ 春一番！ 農伝支援 コンサートの恵み

3月4日(土)、まぶね教会（神奈川県川崎市、林巖雄牧師）の礼拝堂を提供いただき、ムジカ・フェリチタの皆さんによる室内楽コンサートが開催されました。コロナ対策のため、今回も13時と15時の2回に分けての公演でした。プログラムは「バッハの周辺の作曲家たち」と題してブクステフーデのオルガン曲に始まり、テレマン、ハッセ、グラウンという3人の作曲家による明るい曲調のトリオ・ソナタ3曲を聴かせていただきました。神学生の紹介では、在生に加えて23年度の新入生も参加。まさに季節は春！平良校長と学生、卒業生が神学校での学びの一端をお話くださり(写真上)、希望に満ちた新年度のスタートを会場の皆さんで喜びつつ、アンコールに全員で讃美歌21「ナザレの村里」を歌いました。



ムジカ・フェリチタ 右から星野知子(バロック・オーボエ)、賛助出演・平松晶子(バロック・ヴァイオリン) 北田契子(オルガン/ヴィオラ・ダ・ガンバ)、神山敦子(チェンバロ)

支援グッズの販売と会場献金も祝されました。毎回好評のまぶねジャムやパウンドケーキをはじめ、農伝レモンガラス茶の試飲販売や初登場した七宝のピン・バッジ(教会暦のデザイン)も多くの方に喜ばれ、農伝を支えてくださる皆様の熱いご支援と天の恵みに感謝で一杯の一日となりました。出演者の皆様、会場教会の皆様、ご来場者、お祈りに覚えてくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。斎藤純子(後援会実務委員)

農伝ボランティア大募集!!



農村伝道神学校でも「ナラ枯れ」の被害が深刻で倒木もあり、さらに十数本の木々を倒し、大量の樹木を炭にしていることが前号の「学報」「後援会だより」(2023年2月発行)でも報告されました。このため一緒に多くの作業をしてくださる「農伝ボランティア」を大募集しています。

ルバーブ畑(写真)、お茶畑、麦畑、レモングラス、ブルーベリーが広がる農伝の畑も「農伝ボランティア」のご協力を待っています。好評の農伝野草木茶、桑・イチヨウ・柿の葉茶も若葉のうちに摘み取り作業があります。ビワ茶は通年で摘み取りができます。

ストーン館の中庭 Jean's Garden でも四季をとおして一緒に楽しく作業をしましょう。

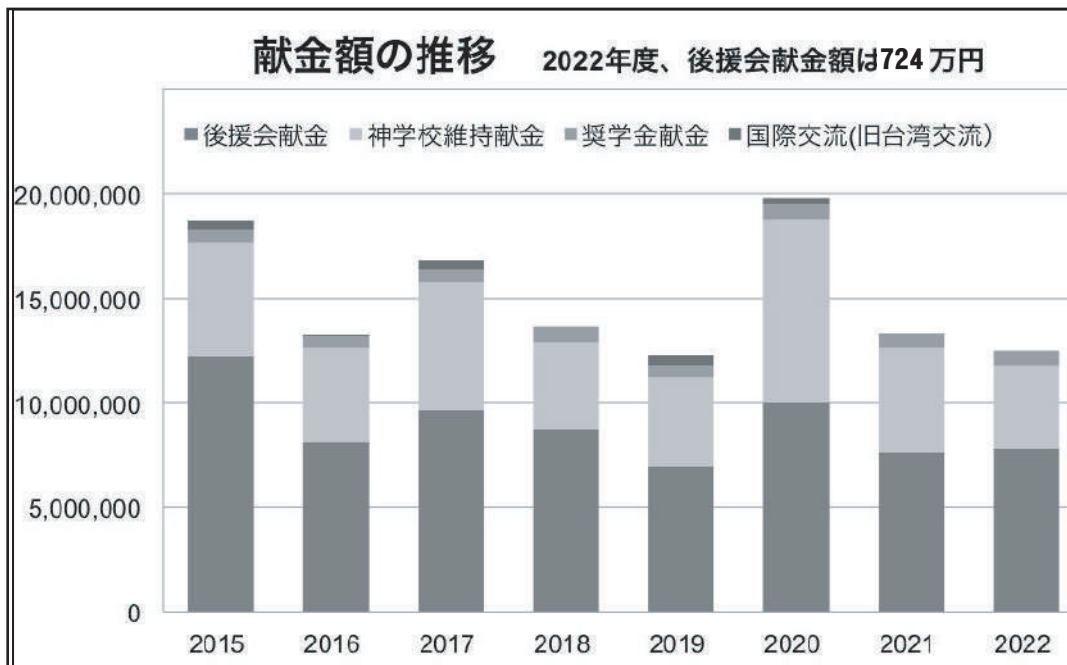
6月	麦畑収穫、若葉摘み取り、ルバーブ収穫、ジャム作り
7月	ブルーベリー、ルバーブ収穫、二番茶のお茶摘み
8月	
9月	レモングラス収穫、野草木茶作り
10月	ルバーブ収穫、ジャム作り
11月	ビワの葉茶のお茶作り
12月	お茶畑、ルバーブ畑手入れ
1月	畑の藁敷き、レモングラス畑手入れ
2月	ルバーブ畑手入れ、甘夏ミカン収穫
3月	ルバーブ畑種まき
4月	一番茶のお茶摘み、お茶作り
5月	ルバーブ定植、レモングラス手入れ

農伝を大きく支える献金 2023年度も後援会献金目標額 850万円!

全国の教会、学校、グループ、個人の皆さまからの献金とお祈りに深く感謝を申し上げます。2023年度は3人の新入生を迎えてスタートしました。

昨年度から「後援会献金」を「鶴川学院」に一本化し、所得税の控除を受けられるようになりました。目標額850万円に対し、コロナ禍のなかで724万円を達成できました(下の表とP4会計報告参照)。

○後援会献金は支援グッズ売上やコンサートも含み、経費精算のうえ神学校へ入金されます。ひとつぶ献



金も大きな力です。献金者・団体名を「後援会だより」に掲載(匿名可)。○神学校維持献金は、教会の月定献金のように約束して神学校へささげる献金です。献金者・団体名・匿名を「維持献金報告」で報告します。(後援会事務局)

献金名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
国際交流(旧台湾交流)	469,000	35,000	411,322	35,000	487,000	303,000	15,000	13,000
奨学金献金	604,410	558,310	640,824	717,224	597,037	753,000	659,000	690,000
神学校維持献金	5,440,500	4,507,560	6,093,550	4,179,028	4,655,030	8,749,000	5,026,000	4,015,000
後援会献金	12,210,000	8,140,000	9,650,000	8,710,000	7,000,000	10,000,451	7,600,000	7,244,042
合計	18,723,910	13,240,870	16,795,696	13,641,252	12,739,067	19,805,451	13,300,000	11,962,042

2022年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2022年1月28日～2023年5月6日 ()内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援献金 (団体)	5,000	比企 敦子 10,000	今津教会 10,000	名古屋中央教会	後藤美和子 5,000
秋南教会浅舞会堂	合計 31 件	福島 真 10,000	今治教会 5,000	15,000	佐藤 節男 10,000
5,000	金額 328,000	藤原一二三 3,000	岩槻教会 10,000	名寄教会 2,000	菅野百合子 2,000
石橋教会 5,000	後援献金 (個人)	前田 紀子 5,000	牛久教会 10,000	新潟教会 5,000	鈴木 一宏 3,000
岡崎茨坪伝道所 5,000		真崎 麗子	江古田教会 5,000	西千葉教会 10,000	高橋とも子 10,000
荻窪教会ラオス会	浅野 直人 5,000	15,000(2)	桜美林教会 5,000	西那須野教会 5,000	田中 嘉代 5,000
5,000	荒川純太郎・荒川奈	松田 芳治 5,000	大泉教会 10,000	二宮教会 10,000	長尾 邦弘 20,000
鎌ヶ谷教会 5,000	津江 5,000	松田千恵子 30,000	大阪城北教会 10,000	野方町教会 10,000	中村まさ代 2,680
蒲田教会 5,000	石井 光子 5,000	松村禎夫・保乃	荻窪教会 10,000	野幌教会 5,000	福島 義人 5,000
草津教会 5,000	伊藤 武子 30,000	30,000	小田原教会 10,000	東長崎ウエスレー教	古川 恵 5,000
甲山教会 5,000	伊藤威知郎 1,000	松山 清子 5,000	笠岡教会 2,000	会 5,000	三原 仁子 10,000
国分教会 5,000	糸洲のぶ子 10,000	水地 英子 3,000	鎌倉教会 5,000	聖ヶ丘教会 20,000	山田 早苗 10,000
小倉日明教会 2,000	井上したふ 3,000	三橋 鏡子 2,000	希望ヶ丘教会 10,000	福岡女学院教会	合計 16 件
埼玉和光教会 50,000	加藤久幸・輝勢	保田 茂 3,000	久留米東町教会	5,000	金額 109,680
三枝集會 10,000	30,000	山川 恵子 10,000	10,000	藤沢大庭教会 5,000	
山谷兄弟の家伝道所	金澤 正善 10,000	山田 弘江 1,000	高座渋谷教会	藤沢教会 50,000	ひとつぶ献金
3,000	川島 堅二 5,000	吉澤 幸子 3,000	15,000(2)	本所緑星教会 5,000	生田教会 62,700
信濃町教会聖和会	川尻 素子 5,000	吉田 光子 10,000	神戸教会 10,000	幕張教会 20,000	石津教会 56,400
10,000	小泉久美子 3,000	渡辺 教・好子 5,000	狭山教会 5,000	三重教会 5,000	相武台教会 163,900(2)
女子学院 20,000	小出清信・公子	渡辺志津枝 88,100	佐原教会 5,000	むさし小山教会 5,000	上大岡教会 11,200
逗子教会 20,000	10,000	匿名 10,100	三軒茶屋教会 10,000	武蔵野扶桑教会 5,000	川和教会 32,000
仙台北教会 5,000	小手川 到 10,000	合計 51 件	四條町教会 5,000	明治学院 35,000	杉並教会 6,000
玉出教会 20,000	斉藤小百合 5,000	金額 629,900	志村栄光教会 5,000	八雲教会 10,000	世真留教会 29,750
手作りボランティア	佐藤 潤子 100,000	記念日他献金 (団体)	周防教会 20,000	大和教会 5,000	相武台教会 15,200
吾亦紅 10,000	三宮 千枝 10,000	愛隣教会 5,000	世真留教会 5,000	弓町本郷教会 5,000	鶴川北教会 39,800
東京都民教会 5,000	島 しづ子 50,700(2)	青戸教会 5,000	仙台東一番丁教会	代々木教会 10,000	鶴川教会 52,500
西片町教会 30,000	新 清緑 5,000	青山学院高等部	10,000	洛南教会 3,000	日野台教会 9,000
東中野教会 5,000	鈴木 伸 1,000	30,000	草加教会 10,000	竜ヶ崎教会 18,000	松本筑摩野伝道所
東広島教会 5,000	高柳 富夫 12,000(2)	青山学院初等部	高の原教会 5,000	六角橋教会 30,000	合計 67 件
福岡中部教会 10,000	田中和三郎 10,000	10,000	宝塚教会 5,000	金額 665,000	まぶね教会 12,100
福知山教会 3,000	千葉美佐子 20,000	青山学院中等部	茅ヶ崎恵泉教会	記念日他献金 (個人)	水元教会 16,400
溝ノ口教会 20,000	長町 昭子 3,000	10,000	10,000	井上 光夫 10,000	横浜二ツ橋教会
横須賀学院 5,000	西田 悦子 3,000	厚木上教会 10,000	調布教会 10,000	柏井 雅子 5,000	25,000
横浜菊名教会 20,000	西村保興子 15,000	尼崎教会 3,000	天王台教会 2,000	木下 良子 5,000	竜ヶ崎教会 27,400
横浜 YMC A 福祉会	野崎 典子 5,000	一関教会婦人会	天満教会 10,000	栗原 健 2,000	若松栄町教会 5,000
25,000	原田 和子 5,000	5,000	東洋英和女学院中学		合計 18 件
代々木上原教会			部高等部母の会		金額 575,350

2022年度農村伝道神学校後援会会計報告

2022年4月1日～2023年3月31日現在

収入の部 (単位:円)				支出の部 (単位:円)			
費 目	2022年度		前年度		費 目	2022年度	前年度
	件数	金額(円)	件数	金額(円)			
後援献金(団体)	65	858,250	64	839,497	神学校献金	7,244,042	7,600,000
〃(個人)	209	1,550,540	199	1,397,340	通信費	682,213	374,842
記念献金(団体)	287	3,220,453	284	3,136,313	印刷費	693,469	492,904
〃(個人)	261	2,005,756	273	2,090,908	事務費	346,425	404,842
ひとつぶ献金	31	1,175,250	31	1,225,400	グッズ材料費	221,761	104,131
支援コンサルタント		136,300		125,561	その他	0	35,000
支援グッズ		404,626		364,502	振替手数料	146,826	161,100
繰越金		6,762		60	繰越金	23,201	6,762
合 計	853	9,357,937	851	9,179,581	合 計	9,357,937	9,179,581

お願い 献金のお振り込みは「学校法人鶴川学院00140-7-635524」をお願いいたします。
「農村伝道神学校後援会 00120-6-24418」は通知料金がかかるため、上記の払込票をお使いください。

事務局だより

2022年度も農村伝道神学校支援のために前年度を越える後援会献金をお送りいただき、移行期で支出が増えましたが、神学校に724万円を送ることができました。コロナ禍と、さまざまな困難のなかでのお支えに深く感謝をいたします。

「島しづ子作品展・語る会」(P2)は、初めて神学校へ来られた方も多く、「学報」「後援会だより」の送り先を増すことができました。原画6点と絵ハガキ194枚を購入いただき、辺野古新基地建設反対海上行動支援と後援会献金のために50,700円を作ることができました。P3月一回からの農伝ボランティア、お声かけをお願いします。募集チラシをご請求ください。

今年度850万円の献金目標額が達成できますように、お祈りとご支援をどうぞよろしくお願いいたします。
事務局長 長谷川りゑ子

発行 農村伝道神学校後援会
会長 島 しづ子
事務局長 長谷川りゑ子
〒195-0063 東京都町田市野津町 2024
TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
Eメール:
後援会 kouenkai@noden.ac.jp
農村伝道神学校 noden@pony.ocn.ne.jp
ホームページ: https://noden.ac.jp/
郵便振替口座
加入者名: 学校法人鶴川学院
00140-7-635524